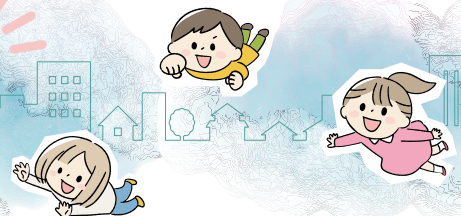




# まちの話題



12月25日[Wed]～28日[Sat]

## 全国小学生バドミントン選手権大会で嶺川・川上ペアが5位入賞！



▲賞状と優勝旗を掲げる多久スポーツピアのみなさん

令和6年12月25日～28日に兵庫県で開催された「第33回全国小学生バドミントン選手権大会」男子ダブルス6年生以下の部で、嶺川七絆・川上聖永ペア（多久スポーツピア）が、見事5位入賞を果たしました。2人は「目標のベスト4には届きませんでしたが、自分たちのベストプレーができてよかったです」と試合を振り返りました。

さらに多久スポーツピアチームは、昨年末の佐賀県中学校バドミントン新人大会で初の団体優勝を飾る快挙も。キャプテンの増岡美月さんは「故障者もいて不安でしたが、みんなの力で優勝できてうれしかったです」と喜びを語りました。



1月8日[Wed]、9日[Thu]

## 田中英行さん、國信好永さんが長年の議会功績により旭日双光章を受章



▲賞状と勲章を手にする田中さん（左）と國信さん（右）

秋の叙勲で前多久市議会議員の田中英行さん（北多久町）、國信好永さん（東多久町）が長年にわたる地方自治功労による旭日双光章を受章されました。田中さんは市議会議員として6期24年、國信さんは4期16年、市民に寄り添いながら多久市政の発展のために大きく尽力されました。

田中さんは「このような賞を受章できたのは、これまで多くの人に支えていただいたおかげだと思っています。これからは地域のボランティア活動などで恩返ししていきたいです」と話され、國信さんは「自分の信念をもって多久市のために一生懸命取り組んできました。これからも市のために魅力ある議会にしていきたいと思います」と話されました。

1月26日[Sun]

## シンポジウム「これからの茅葺き民家を考える」



▲参加者は熱心にメモを取りながら基調講演に耳を傾けました

「佐賀の木・家・まちづくり協議会」の主催による、茅葺き民家の実情とこれからのテーマとしたシンポジウムが、寒鷲亭（国登録有形文化財：多久町）を会場に開催されました。

1部では筑波大学名誉教授で日本茅葺き文化協会代表理事の安藤邦廣さんによる「茅葺きの継承と新潮流」と題した基調講演が実施され、2部では「多久および北部九州の茅葺き民家の可能性」をテーマに建築士や茅葺き職人、まちづくり関係者らによるパネルディスカッションが行われました。佐賀大学理工学部の木村華凜さんとともに市内の民家調査を行った同学部の田代美都香さんはパネリストとして参加し「市民のみなさんの意識を高めることが、歴史的な建物の保存や周知につながるのではないかと思います」と意見を述べられました。

